

天星製油株式会社

環境経営レポート

第41期 Vol. 22.0

(2024/11/1～2025/10/31)

産廃処理業者向けガイドライン2017準拠



2025年12月1日

目次

1. 組織の概要と許認可	2
2. SDGs宣言書	7
3. 環境経営方針	8
4. エコアクション21認証・登録範囲、体制.....	9
5. 第41期 環境経営目標・計画	10
6. 第41期 環境経営目標の実績.....	13
7. 第41期 環境経営計画の取組結果・評価	16
8. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果、違反、訴訟等の有無	20
9. 第42期 環境経営目標・計画.....	22
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	24

<改訂履歴>

Vol. 22.0 2025年12月1日 作成

1. 組織の概要と許認可

1. 組織の概要

事業所名	天星製油株式会社
代表者名	代表取締役 鈴木宏政
法人設立	1984年11月1日
資本金	1,000万円
事業所	<p>本社</p> <p>静岡県浜松市浜名区新原3833-1</p> <p>山梨営業所</p> <p>山梨県笛吹市一宮町国分1284-1</p> <p>若草油槽所</p> <p>静岡県浜松市浜名区寺島652-1</p> <p>エコメンステーション</p> <p>静岡県浜松市浜名区新原3903</p> <p>第一駐車場</p> <p>静岡県浜松市浜名区新原3927-1,6,7,8</p> <p>南武事務所</p> <p>静岡県浜松市浜名区新原3922-1</p>
事業内容	<p>廃油買取</p> <p>再生重油・再生潤滑油の委託・再生及び販売</p> <p>産業廃棄物の処理</p> <p>（廃油、廃油水、汚泥、オイルエレメントの収集・運搬及び処分）</p> <p>メンテナンス事業</p> <p>（油槽等の清掃、漏洩検査、タンク撤去・設置等）</p> <p>漏油事故処理</p> <p>防災用品販売</p> <p>（吸着マット、土壌処理剤の販売）</p>

環境管理責任者 代表取締役 鈴木 宏政

Ea21事務局 事務課総務グループ 鈴木 寛子

連絡先 Tel …… 053-586-9911
Fax…… 053-586-9915
Mail… entry@tenboshi.com
HP…… <https://www.tenboshi.com/>

2. 事業の規模

項目	(単位)	第36期 2019年11月 ～2020年10月	第37期 2020年11月 ～2021年10月	第38期 2021年11月 ～2022年10月	第39期 2022年11月 ～2023年10月	第40期 2023年11月 ～2024年10月	第41期 2024年11月 ～2025年10月
従業員数	(人)	53	52	56	58	63	67
売上高	(百万円)	730	797	950	1,046	1,060	1,088
車両台数	(台)	56	56	58	58	58	60
油保管容積	(kL)	1,435	1,435	1,435	1,445	1,554	2,038
敷地面積	(m ²)	14,966	14,966	15,740	15,830	15,830	15,830
床面積	(m ²)	998	998	998	1,178	1,178	1,354
収集・運搬量	(t)	6,230	7,661	8,082	8,788	8,585	8,059
中間処理量	(t)	6,238	7,719	8,129	8,834	8,640	8,098



2025年4月に構内工事完了。地下タンク等の増設と工場増床により保管容積・床面積が増加した。

3. 産業廃棄物処理業の許可の内容

◆ 収集運搬業

< 普通産業廃棄物 >

自治体 (◎:優良認定)	許可番号	許可年月日	有効年月日	積替 保管	産業廃棄物の種類					
					廃油	廃アルカリ	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	廃酸
静岡県 ◎	第02201002575号	2021年7月31日	2028年7月30日	無	○	○	○	○	○	—
愛知県 ◎	第02300002575号	2023年3月10日	2030年3月9日	無	○	○	○	○	○	—
山梨県 ◎	第01915002575号	2023年8月24日	2030年8月23日	有/無	○	○	○	○	○	—
岐阜県 ◎	第02100002575号	2023年8月29日	2030年8月28日	無	○	○	○	○	○	—
神奈川県 ◎	第01405002575号	2024年6月20日	2031年5月31日	無	○	○	○	○	○	○
東京都 ◎	第1300002575号	2024年6月1日	2031年5月31日	無	○	—	—	—	—	—
長野県 ◎	第2009002575号	2024年6月13日	2031年6月12日	無	○	○	○	○	○	—
三重県 ◎	第02400002575号	2024年7月24日	2031年7月20日	無	○	○	○	○	○	—
滋賀県 ◎	第02501002575号	2020年5月26日	2027年4月27日	無	○	○	○	○	○	—

< 特別管理産業廃棄物 >

自治体 (◎:優良認定)	許可番号	許可年月日	有効年月日	積替 保管	産業廃棄物の種類
					引火性廃油
静岡県 ◎	第02251002575号	2022年4月5日	2029年4月4日	無	○
山梨県 ◎	第01965002575号	2022年8月23日	2029年8月22日	有/無	○
愛知県 ◎	第02350002575号	2022年10月7日	2029年10月6日	無	○
神奈川県 ◎	第01455002575号	2023年6月14日	2030年6月13日	無	○
長野県 ◎	第2059002575号	2021年12月13日	2028年12月12日	無	○
岐阜県 ◎	第02150002575号	2022年3月3日	2029年3月2日	無	○
三重県 ◎	第02450002575号	2022年3月6日	2029年3月5日	無	○
千葉県 ◎	第01250002575号	2023年6月26日	2030年6月25日	無	○
滋賀県 ◎	第02551002575号	2024年2月20日	2029年2月19日	無	○

◆ 処分業

種類	自治体 (◎:優良認定)	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業区分	産業廃棄物の種類
普通	浜松市 ◎	第06321002575号	2021年8月6日	2028年8月5日	中間処分	汚泥、廃油、廃アルカリ、金属くず、廃プラスチック類
特別管理	浜松市 ◎	第06371002575号	2022年4月5日	2029年4月4日	中間処分	引火性廃油

4. 産業廃棄物処理施設等の状況

◆ 収集運搬車両の種類と台数

タンクローリー(2kL) …………… 1台	平ボディ車…………7台
タンクローリー(4～8kL) …… 23台	吸引車 ……………5台
タンクローリー(8kL超) …… 9台	計45台

◆ 積替保管施設(山梨営業所)の面積と保管上限量

面積………… 106.83 m ²		
廃油………… 64.0m ³	引火性廃油… 21.0 m ³	廃プラスチック類…13.0 m ³
廃アルカリ… 19.0 m ³	汚泥 …………… 13.0 m ³	金属くず ……………13.0 m ³

◆ 処理施設の種類、能力および処理する産廃の種類

< 普通産業廃棄物 >

処分方法	処理能力	産業廃棄物の種類
油水分離①(遠心分離)	305 kL/日	廃油、汚泥
油水分離②(遠心分離)	154 kL/日	廃油、汚泥
油水分離(重力中和)	60 kL/日	廃油、汚泥
蒸発濃縮	468 kL/日	廃油、廃アルカリ
混合	352 kL/日	廃油、廃アルカリ
ろ過	19.2 kL/日	廃油
切断・圧縮	3.8 t/日	金属くず、廃プラスチック類
脱水	35 kL/日	廃油、汚泥

< 特別管理産業廃棄物 >

処分方法	処理能力	産業廃棄物の種類
油水分離①(遠心分離)	305 kL/日	引火性廃油
油水分離②(遠心分離)	154 kL/日	引火性廃油
油水分離(重力中和)	60 kL/日	引火性廃油
混合	352 kL/日	引火性廃油

5. 産業廃棄物処理の料金

サンプル分析や排出工程の調査、SDS、WDS等により検討し決定する。

6. 処理方式及び処理工程



2. SDGs宣言書



SDGs宣言書

2025年3月25日
天星製油株式会社

当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取り組みを下記のとおり宣言します。

カテゴリ	取組テーマ	KPI(指標と目標)
環境	<p>自社での環境負荷低減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年度までに、使用電力量のうち40%以上を非化石エネルギー由来の電力に切り替える ・2035年度までに、使用電力量のうち70%以上を非化石エネルギー由来の電力に切り替える ・2030年度までに、水系処理一連の工程(中和、蒸発濃縮、排水)で消費されるエネルギー効率を改善し、2024年度比30%の消費エネルギー削減を行い、省エネルギー化を推進していく ・2025年度までに、自社の排水量を2024年度比40%以下まで抑制する ・2030年度までに、自社の排水量を2024年度比20%以下まで抑制する
	<p>地域企業の持続性を高める事業活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再生重油の品質保証として出荷時に PCB 分析の実施及び分析結果である評価レポートを公表し、以降も、評価レポートの改善に継続して取り組んでいく ・分析結果である評価レポートの公表を通じ、再生重油を継続して使用する取引先の割合が80%以上となるように維持していく
社会	<p>働きやすい職場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年度までに、従業員一人当たり4件/年以上の業務改善提案が発案されるとともに、年間12件以上の採択及び実施を実現する ・2030年度までに、業務改善提案を実施することで、平均残業時間を10時間/月以下まで削減する ・2030年度までに、有給休暇取得率85%以上を達成し、維持する ・2030年度までに、女性従業員を3名以上純増させる
	<p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年度までに、1等級及び2等級の半数以上の従業員について、所属部署及び担当業務以外の業務を10日以上経験させ、業務遂行能力を向上させる ・2035年度までに、1等級及び2等級の全ての従業員について、所属部署及び担当業務以外の業務を10日以上経験させ、業務遂行能力を向上させる

3. 環境経営方針

<基本理念>

1. 当社は「廃油リサイクルの専門家」として、廃油のリサイクル、産業廃棄物の処理、油関連設備等のメンテナンスの事業活動を通じて地球の環境保全に貢献する。
2. 自らの事業においても環境との調和、自然との共生に配慮し、すべての部署で環境の保全・向上に対して積極的・継続的な活動を展開する。
3. エコアクション21ガイドライン(業種別ガイドライン)に基づいた環境経営システムを構築、運用、維持する。

<行動指針>

1. 廃油のリサイクルシステムの普及、改善、安定化に継続的に努力する。
2. 環境関連の法律、規制、我々が同意するその他の要求事項を遵守する。なかでも廃棄物処理法には最大の注意をする。
3. 自他の環境事故、特に火災、漏油に対して、予防対策、事故処理訓練を実施する。
4. 省エネルギー、省資源、環境保全を全ての活動範囲で取り組む。特に収集運搬車両のエコドライブ、燃費削減、排気ガスの削減に心がける。
5. 地球温暖化ガスの発生抑制に努める。
6. 周辺環境、地域社会との共存に努力する。
7. 環境教育、情報の収集等により、見識を高め、全社員が環境経営方針をはじめ環境経営目標、環境経営計画を理解したうえで行動に落とし込む。
8. 職場の作業環境の向上、具体的には、安全衛生面、平易化、効率化、見える化に努力する。
9. 当社より排出する廃棄物の削減に努力する。
10. これらに基づいて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直し、環境経営の継続的改善に努める。

制 定 日 2005年3月5日

最終改定日 2023年9月1日

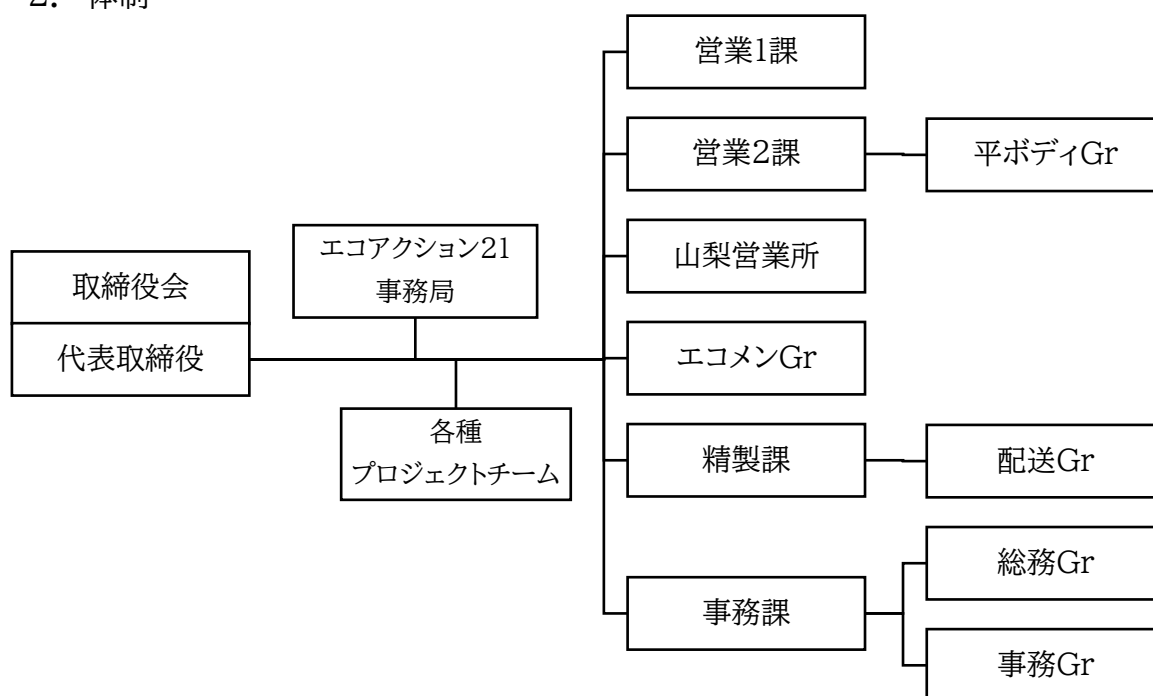
天星製油株式会社

代表取締役 鈴木宏政

4. エコアクション21認証・登録範囲、体制

1. エコアクション21認証・登録範囲…全組織、全活動、全従業員対象

2. 体制



3. 役割、責任及び権限

役割	責任及び権限
代表取締役	環境経営方針の設定、環境管理責任者の任命・指示、環境経営目標・環境経営計画・環境経営マニュアルの承認、経営における課題とチャンスの明確化、全体の評価・見直し
環境管理責任者	Ea21活動の責任者(事務局内)、Ea21職場会議リーダー・事務局員・訓練委員の任命、目標・計画の決定、システムの確立・実施・維持、環境法規制の遵守評価
Ea21事務局員	環境経営目標・環境経営計画・環境経営マニュアルの作成、環境負荷及び取り組み状況の把握、環境経営レポート作成、職場会議総括及び基礎資料の作成、Ea21リーダー会議企画
Ea21職場会議リーダー	職場会議の目標設定・日程調整・進行・取りまとめ、職場会議レポート作成、日常的な取り組みの啓発
訓練委員	訓練の企画・実行・総括、システムの構築、機材の用意
全従業員	環境経営方針の理解、環境経営目標達成のためにPDCAを回す
職制リーダー	課員がEa21活動を行うための時間、労力を確保できるように配慮する

5. 第41期 環境経営目標・計画

1. 第41期 環境経営目標

目標	40 期 (基準値)	41 期	42 期	43 期	44 期
二酸化炭素排出量 削減 (kg-CO2)	1,618,689	1,294,952 80%以下	1,035,961 64%以下	1,019,774 63%以下	1,003,587 62%以下
廃棄物 排出量 削減 (kg)	1,818	1,799 99%以下	1,781 98%以下	1,763 97%以下	1,745 96%以下
		2,718,104 99%以下	2,690,649 98%以下	2,663,193 97%以下	2,635,738 96%以下
水使用量 削減 (m³)	498.8	493.8 99%以下	488.8 98%以下	483.8 97%以下	478.8 96%以下
		5,029.3 60%以下	2,514.7 30%以下	2,430.8 29%以下	2,347.0 28%以下
化学物質使用量 削減 (kg)	17.5	9.4 54%以下	3.5 20%以下	3.3 19%以下	3.1 18%以下
業務を通じた環境 面での社会貢献	顧客満足度の向上、差別化によるシェアの拡大、効率化推進、再資源化の推進、 ペーパーレス化 等				
地域貢献 社会貢献	環境負荷低減に資する技術や製品の開発、地域活動への参加、グリーン購入の 推進 等				

2. 第41期 環境経営計画

計画	活動内容	目標 (対40期比)	担当	実施 時期		
二酸化炭素 排出量の 削減	燃料 使用量 削減	軽油車:輸送量あたり燃費の向上	101%以上	営業1課 山梨営業所	通年	
		距離あたり燃費の向上	101%以上	営業2課	通年	
		ガソリン車:距離あたり燃費の向上	101%以上	営業車 使用者	通年	
		デジタコ平均点向上	98点以上	配送G	通年	
		ダンパー車:デジタコ平均点向上	97点以上	エコメン	通年	
	電力 使用量 削減	処理量あたりA重油使用量の削減	54%以下	精製課	通年	
		処理量あたり高圧電気使用量の削減	120%以下		通年	
		電灯・エアコン電力使用量の削減	105%以下	全課	通年	
		業務を通した環境面 での社会貢献	廃油・廃アルカリ集荷量の増加	105%以上	営業1課 営業2課 山梨営業所	通年
			エレメント回収量の増加	105%以上	営業2課 (平ボディ)	通年
再生重油生産スピードの向上	10kL/h 以上		精製課	通年		
廃油水处理効率の向上	118%以上		精製課	通年		
水使用量の削減	水道水(上水)の使用量削減	99%以下	全課	通年		
	地下水の使用量削減	60%以下	全課(*1)	通年		
廃棄物の削減	一般廃棄物の排出量削減	99%以下	事務課	通年		
	産業廃棄物の排出量削減	99%以下	全課(*2)	通年		
化学物質適正管理	処理量あたりメチルナフタレン使用量の削減	54%以下	精製課	通年		
教育	業務に関わる教育(安全・法令・環境等)の実施	実施	全課	通年		
法令順守	法令・環境保全協定の履行改正の確認・周知	違反なし	全課	通年		
地域共生	地域に対する貢献活動(周辺清掃等)の実施	実施	全課	通年		
見える化、平易化	設備や手順の表示・工程の見直し、文書の整理等	実施	全課	通年		

電力
使用量
削減業務を通した環境面
での社会貢献

*1:山梨営業所及び事務課は除く
*2:事務課は除く

3. 事業における課題とチャンス

	事業における課題 (事業上の弱み、問題点等)	事業におけるチャンス (事業場の強み、有利な点等)
社内	<ul style="list-style-type: none"> ・人材に対する適切で継続的な教育 ・緊急事態への対処 ・自社のカーボンニュートラル推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験と実績で積み上げてきた地域に根付いた信頼 ・技術や知見を集積させた従業員の力 ・廃油再生に対応した設備・資産
社外	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル業界の前提(物質循環の環が途切れない、発生先と処理後の受入先のバランス崩壊が無いこと) ・カーボンニュートラルの動き ・相互関税問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンスタンド、自動車整備工場、一般製造業等、定期的に廃油が発生する堅実な市場 ・廃油リサイクルに対する地域産業の期待 ・カーボンニュートラルの動き

4. 重点目標

事業における課題であり、チャンスでもある「カーボンニュートラルの推進」、特に二酸化炭素排出量の削減に引き続き重点を置いて活動に取り組む。

第40期から始まった構内工事は第41期前半に完了し、第42期以降は高圧使用量の増加、A重油・化学物質(メチルナフタレン)・地下水の各使用量の削減等が見込まれるが、引き続き全社員一丸となって二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいく。



6. 第41期 環境経営目標の実績

1. 第41期 環境経営目標の実績

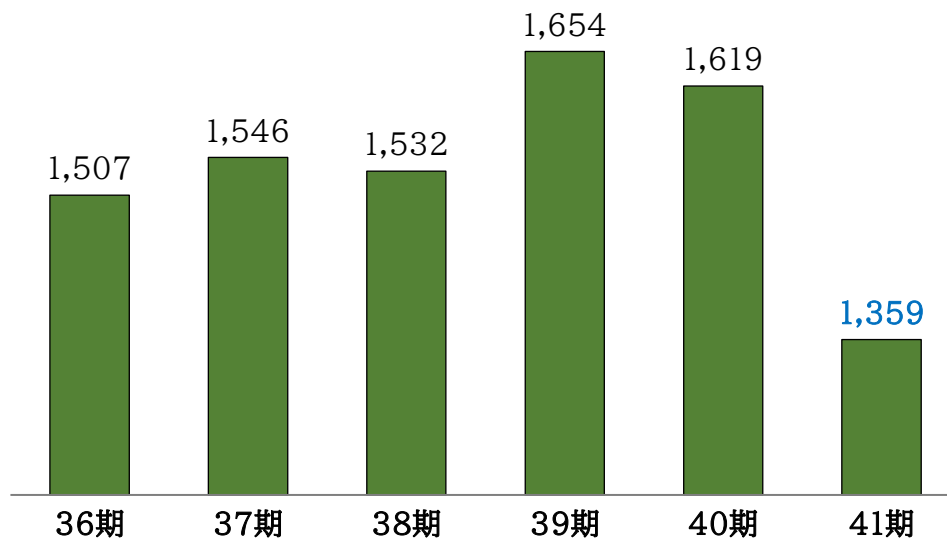
項目	単位	40期 基準値	41期		評価
			目標	実績	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	1,618,689	1,294,952 80%以下	1,359,142 84.0%	△
廃棄物 排出量	一般廃棄物	kg	1,799 99%以下	1,820 100.1%	△
	産業廃棄物	kg	2,718,104 99%以下	2,483,205 90.4%	○
	うち再資源化量	kg	—	92,320	—
水 使用量	上水	m3	493.8 99%以下	491.0 98.4%	○
	地下水	m3	5,029.3 60%以下	6,032.6 72.0%	×
化学物質使用量 (メチルナフタレン)	kg	17.5	9.4 54%以下	10.5 59.9%	×
業務を通じた環境面での社会貢献		効率化推進、再資源化の推進、ペーパーレス化等			○
地域貢献・社会貢献		地域活動への参加、グリーン購入の推進 等			○

※第41期の電力の二酸化炭素調整後排出係数は下記を使用。

本社……………0.421g-CO2/kWh(中部電力ミライズ、2023 年度実績)

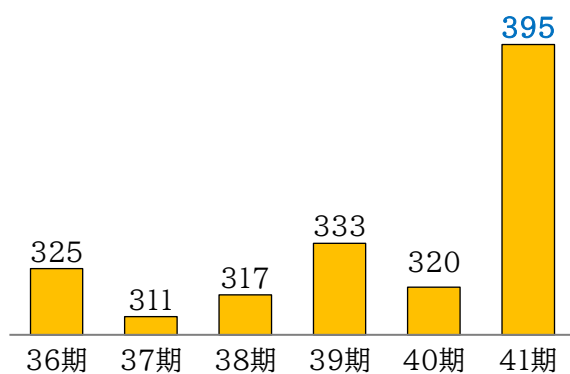
山梨営業所 ……0.506kg-CO2/kWh(ENEOS でんき、2023年度実績)

二酸化炭素排出量の推移 (t-CO2)

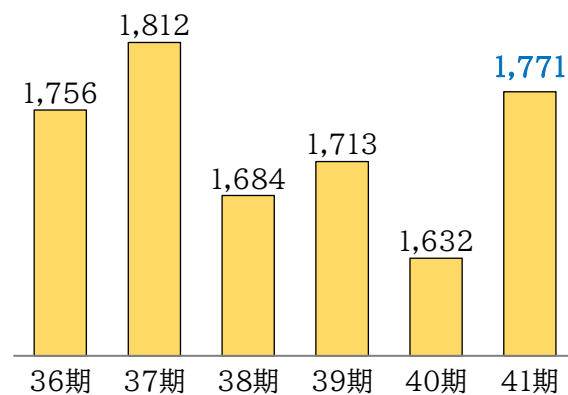


2. 各項目の推移

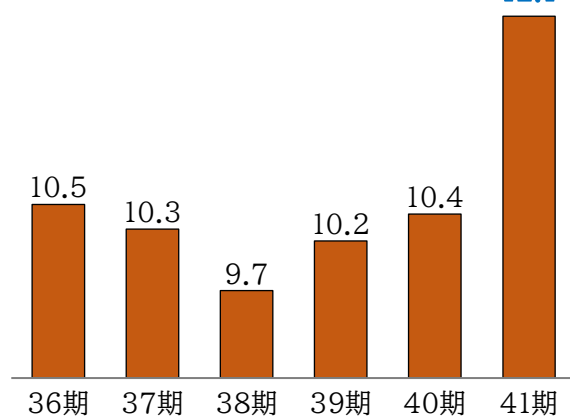
電力：中部電力ミライズ(千kWh)



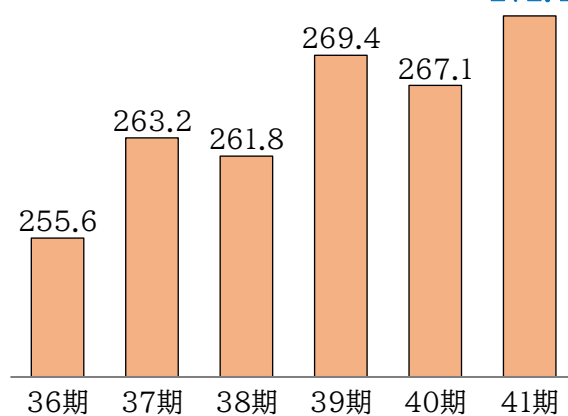
電力：ENEOSでんき (kWh)



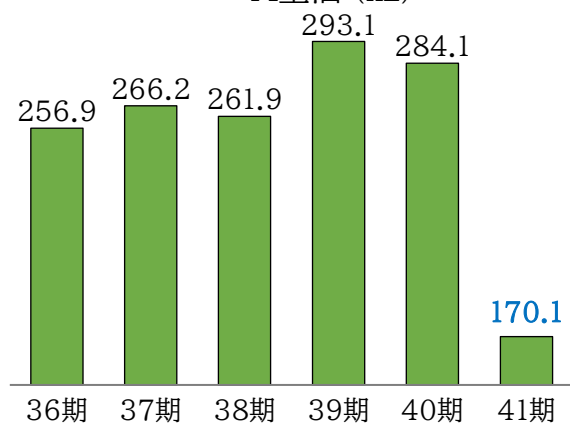
ガソリン (kL)



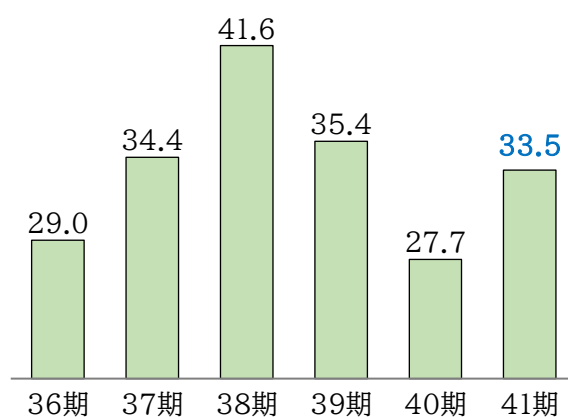
軽油 (kL)



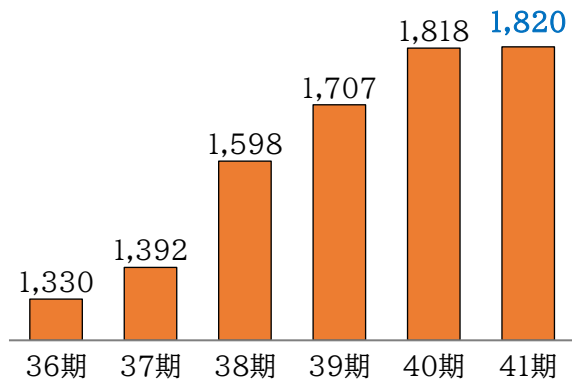
A重油 (kL)



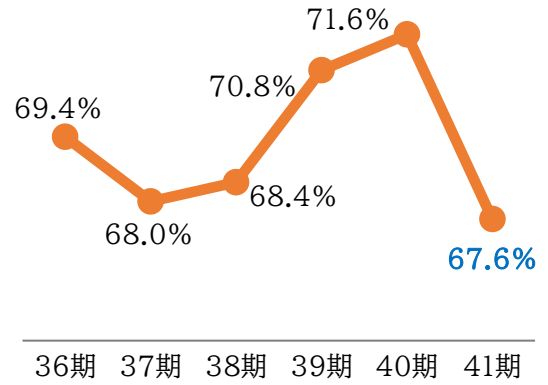
液化石油ガス(LPG) (kg)



一般廃棄物 (kg)

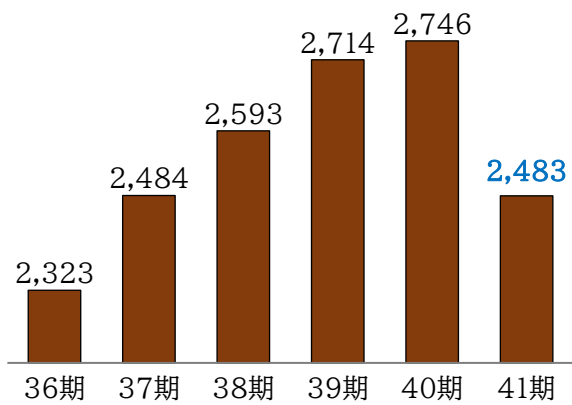


※一般廃棄物 リサイクル率

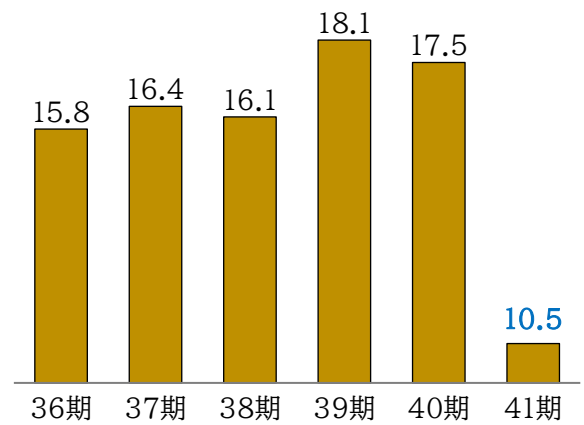


※一般廃棄物のうち再資源化される
古紙及び溶解書類の割合

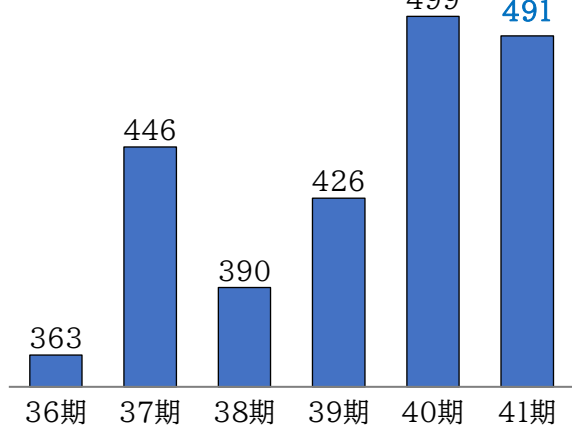
産業廃棄物 (t)



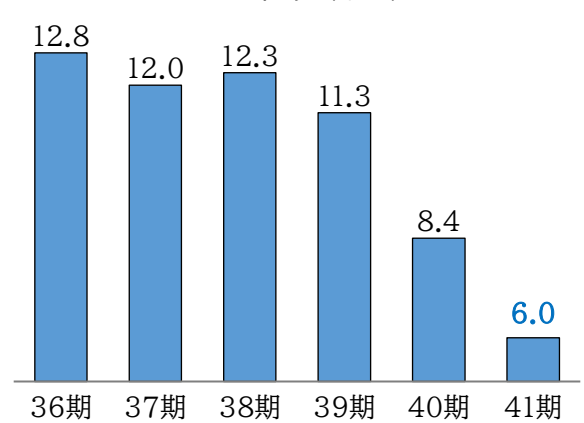
化学物質使用量 (kg)



上水 (m³)



地下水 (千m³)



7. 第41期 環境経営計画の取組結果・評価

1. 第41期 環境経営計画の取組結果・評価

環境経営計画に対して、前年対比目標を達成または実行できたものは○、前年対比目標の±5%以内は△、±5%を超えたものは×と判定した。

二酸化炭素排出量の削減

活動内容	取組状況	評価
燃料 使用量 削減 輸送量または距離 あたり燃費の向上 デジタコ平均点向上	アイドリングストップやエコドライブの徹底等、各車両の走行データを元に燃費向上に取り組んだが、車両の追加及び猛暑の影響でエアコン稼働率が上昇したため、全体では目標が達成できなかった。 (前年対比平均99.8%)	△ 継続
処理量あたりA重油 使用量の削減	新蒸発濃縮装置の稼働により使用量を大幅に削減できたが、目標は達成できなかった。 (前年対比61.8%)	× 継続
電力 使用量 削減 処理量あたり高圧 電気使用量の削減	新蒸発濃縮装置の稼働を見込んで計画を立てたが、予想以上に使用量が増加した。 (前年対比127.5%)	× 継続
電灯・エアコン電力 使用量の削減	全体での節電意識は向上しているが、猛暑の影響や人員増、本社構内の外灯新設によりエアコン・電灯稼働率が共に増加した。 (前年対比107.2%)	△ 継続

業務を通じた環境面での社会貢献

活動内容	取組状況	評価
廃油・廃アルカリ・廃棄物の 集荷量・回収量の増加	新規獲得や新規品目増加などに取り組んだが、大口顧客や集荷先1件あたりの数量減少により、集荷量が減少した。 (前年対比98.7%)	× 継続
再生重油生産スピードの向上	再生重油の生産スピードは目標を達成できなかったが、瞬間的に目標を上回る事があり、全体では前年より向上した。 (前年対比100.2%)	× 継続
廃油水処理効率の向上	新蒸発濃縮装置の稼働により大幅に向上した。 (前年対比152.5%)	○ 継続

水使用量の削減

活動内容	取組状況	評価
水道水の使用量削減	ポンプの故障や人員増により使用量は増加したが、迅速な修理対応や全員の節水意識により目標を達成できた。 (前年対比98.4%)	○ 継続
地下水の使用量削減	新蒸発濃縮装置の稼働後は使用量を削減できたが、設備故障等の影響で未達成。 (前年対比72.0%)	× 継続

廃棄物の削減

活動内容	取組状況	評価
一般廃棄物の排出量削減	可燃ごみの分別徹底・呼びかけ、会議でのペーパーレス化等を引き続き実施したが、人員増及び分別不徹底が原因で、可燃ごみは前年対比114.2%と大幅に増加、リサイクル率は過去6年間で最低となってしまった。 (前年対比100.1%)	△ 継続
産業廃棄物の排出量削減	作業頻度の増加により、特に廃プラスチック及び廃ウエスの使用量は増加したが、廃油水の排出量が大きく削減された為、全体では前年より排出量を抑えられた。 (前年対比90.4%)	○ 継続

化学物質適正管理

活動内容	取組状況	評価
処理量あたりメチルナフタレン使用量の削減	(「燃料使用量削減」内「処理量あたりA重油使用量の削減」に準ずる) (前年対比59.9%)	× 継続

教育

活動内容	取組状況	評価
業務に関わる教育(安全・法令・環境等)の実施	顧客先の安全説明会や外部研修の受講、課内勉強会や新人教育、技術会議、各種訓練等を実施した。	○ 継続

法令順守

活動内容	取組状況	評価
法令・環境保全協定の履行改正の確認・周知	保安講習の受講、産廃に関する法令や契約の確認、PCB講習会、課内勉強会等を実施した。	○ 継続

地域共生

活動内容	取組状況	評価
地域に対する貢献活動の実施	定期的な会社周辺清掃の実施、花壇作り、浜松レスリングクラブSSFC様への活動支援、はまはっぴー様への寄贈や活動支援等を実施した。	○ 継続

見える化、平易化

活動内容	取組状況	評価
設備や手順の表示・工程の見直し、文書の整理等	休日作業の予定共有化、部品交換・整備実施情報共有、作業マニュアル改訂、構内保全、設備・作業手順書の作成・更新などを実施した。	○ 継続

2. 教育・訓練実績

各委員会活動、社内・外部研修共に実施できた。

漏油訓練
(1月、5月、9月)



防災BCP訓練
(12月、4月、9月)



交通安全 KYT 訓練
(1月、7月、10月)



法改正講習
(6月)



年間活動総括
(11月)



- ・避難訓練(毎月)
- ・緊急連絡訓練
(11月、4月、7月)
- ・外部研修…67件参加

3. 地域・社会貢献活動

企業連絡会
(2月)



地域清掃
(随時)



天星Magazine発行
(年4回)



浜松レスリングクラブ
SSFC様 活動支援



はまはっぴー様
活動支援・寄贈



4. 環境活動

○森とアースへのECO-プロジェクト賛同 (カーボンオフセット実施)

- ・愛別町:協和温泉チップボイラー導入
- ・伊達市:伊達市総合運動公園ペレットボイラー導入
- ・滝上町:ホテル溪谷木質バイオマス活用

上記3か所の温室効果ガス削減事業及びプロジェクトへの寄付により、再生重油の精製時に使用する電気使用に起因した二酸化炭素を40t-CO₂オフセットした。



○ふじのくに森の町内会賛同

間伐に寄与する紙の使用を通じて「静岡県の豊かな森林を未来につなぐ活動」に貢献した。

・令和6年度実績

間伐に寄与する紙の使用量…200kg (累計3,672kg)

間伐材(未利用木材)の搬出促進実績…0.5m³ (累計9.18m³)

○使用済カイロ回収事業協力

社内で使用した使い捨てカイロを回収し、一般社団法人Go Green Japan様へ送付することにより、使用済使い捨てカイロの中身を取り出して水質浄化剤や土壌改良剤としてリサイクルする事業に第41期も協力した。



○紙容器等回収事業協力

浜松市西部清掃工場内「えこはま」様にて実施中の使用済紙容器等回収事業へ第39期から継続参加中。第40期からはアルミ付紙パック回収にも取り組み、段ボールやトイレットペーパーへのリサイクルに協力している。

・第41期持込量合計…3.31kg

○環境経営レポート展示

浜松市西部清掃工場内「えこはま」様にて毎年夏休み期間中に開催される「地域企業の「環境報告書」展示」へ、Ea21環境経営レポートを展示していただいた。



8. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果、違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

2025年11月●日の確認において、違反(不遵守)無し。

名称	内容	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正保管、委託処理	○
	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守 (契約書締結)	○
	マニフェストの交付、保管、返却及び交付状況の報告	○
	産業廃棄物収集運搬業又は処分業の許可、変更	○
	産業廃棄物処理基準の順守	○
	特別管理産業廃棄物の収集運搬業又は処分業の許可、 変更	○
	産業廃棄物処理施設設置の許可	○
	不法投棄の禁止	○
浜松市産業廃棄物の 適正処理に関する 条例	事業者、産業廃棄物処理業者の責務	○
	県外産業廃棄物処分協議の状況の確認	○
	産業廃棄物処理状況の報告等	○
大気汚染防止法	施設設置の届出、ばい煙の排出の制限、記録義務	○
水質汚濁防止法	施設設置の届出、排水の排出の制限、測定・記録及び 保存	○
騒音規制法	規制基準値の遵守、施設設置の届出	○
静岡県生活環境保全 等に関する条例	騒音基準の遵守義務、特定施設設置の届出	○
消防法	貯蔵・取扱い及び運搬に関する基準・事故の措置等、設置 許可	○
浄化槽法	保守点検・清掃、水質検査	○
PRTR法	化学物質の排出量、移動量の届出	○
労働安全衛生法	一定の建築物・機械等の計画に関する届出	○
環境保全協定	住民との協定内容を測定、報告	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
	第1種フロン類充てん回収業者への委託	○
	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	○
	フロン類の放出の禁止	○
資源有効利用促進法	パソコン等のリサイクル	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務、引き取り業者への引き渡し	○

※評価→○:遵守、△:検討中、×:不遵守

2. 訴訟等の有無

利害関係者からの訴訟等は、過去3年間無し。

3. その他

◆ 立入件数

全2回(浜松市産業廃棄物対策課、笛吹市消防本部予防課)
指摘事項と対応は以下の通り。

- ・2025年1月:浜松市産業廃棄物対策課
切断・圧縮施設の設置場所と処理工程にて指導有。
→直ちに是正処置を取り再発防止策を実施。
- ・2025年5月:笛吹市消防本部予防課
山梨営業所の屋内貯蔵所について指摘事項有。
→見直実施と変更届の提出により是正済。

◆ 環境コミュニケーション

下善自治会との企業連絡会及び近隣向けの環境アンケートの結果、環境保全協定上の問題及び苦情等は無かった。



本社北側の花壇は、配送グループが丹精込めて育てた花々で彩られている。

9. 第42期 環境経営目標・計画

1. 第42期 環境経営目標

目 標	40期 【基準】	41期 【実績】	42期 【基準比】	43期	44期	45期
二酸化炭素 排出量削減 (kg-CO2)	1,618,689	1,359,146	1,181,643 73%以下	1,165,456 72%以下	1,149,269 71%以下	1,133,083 70%以下
廃棄物 排出量 削減 (kg)						
一般 廃棄物	1,818	1,820	1,818 100%以下	1,799 99%以下	1,781 98%以下	1,763 97%以下
産業 廃棄物	2,745,560	2,483,205	2,745,560 100%以下	2,718,104 99%以下	2,690,649 98%以下	2,663,193 97%以下
水 使用量 削減 (m³)						
上水	498.8	491.0	493.8 99%以下	488.8 98%以下	483.8 97%以下	478.8 96%以下
地下水	8,382.2	6,032.6	3,352.9 40%以下	3,269.1 39%以下	3,185.2 38%以下	3,101.4 37%以下
化学物質 使用量削減 (kg)	17.5	10.5	5.2 30%以下	5.1 29%以下	4.9 28%以下	4.7 27%以下
業務を通じた 環境面での 社会貢献	顧客満足度の向上、差別化によるシェアの拡大、効率化推進、再資源化の推進、ペーパーレス化 等					
地域貢献 社会貢献	環境負荷低減に資する技術や製品の開発、地域活動への参加、グリーン購入の推進 等					

第40期から始まった構内工事は第41期前半で完了し、蒸発濃縮施設の熱源がボイラーからヒートポンプへ切り替わった。この影響で、高圧電気の使用量は増加し、A重油及び化学物質(メチルナフタレン)、地下水の使用量は減少した。

第42期はこれらの項目の増減及び第41期の実績を考慮した上で各目標を設定した。なお、目標は随時確認・見直しを実施していく。

2. 第42期 環境経営計画

計画	活動内容	目標 (対41期比)	担当	実施 時期
<div> <div>二酸化炭素 排出量の 削減</div> <div>燃料 使用量 削減</div> </div>	軽油車:輸送量あたり燃費の向上	101%以上	営業1課 山梨営業所	通年
	距離あたり燃費の向上	101%以上	営業2課	通年
	ガソリン車:距離あたり燃費の向上	101%以上	営業車 使用者	通年
	デジタコ平均点向上	98点以上	配送G	通年
	ダンパー車:デジタコ平均点向上	97点以上	エコメン	通年
	処理量あたりA重油使用量の削減	50%以下	精製課	通年
	処理量あたり高圧電気使用量の削減	115%以下	精製課	通年
	電灯・エアコン電力使用量の削減	101%以下	全課	通年
<div> <div>業務を通した環境面 での社会貢献</div> <div>  </div> </div>	廃油・廃アルカリ集荷量の増加	104%以上	営業1課 営業2課	通年
		106%以上	山梨営業所	
	エレメント回収量の増加	120%以上	営業2課 (平ボディ)	通年
	再生重油生産スピードの向上	10kL/h 以上	精製課	通年
<div> <div>水使用量の削減</div> <div>  </div> </div>	廃油水処理効率の向上	115%以上		通年
	水道水(上水)の使用量削減	100%以下	全課	通年
<div> <div>廃棄物の削減</div> <div>  </div> </div>	地下水の使用量削減	56%以下	全課(*1)	通年
	一般廃棄物の排出量削減	101%以下	事務課	通年
<div> <div>化学物質適正管理</div> <div>  </div> </div>	産業廃棄物の排出量削減	109%以下	全課(*2)	通年
	処理量あたりメチルナフタレン使用量の削減	50%以下	精製課	通年
教育	業務に関わる教育(安全・法令・環境等)の実施	実施	全課	通年
法令順守	法令・環境保全協定の履行改正の確認・周知	違反なし	全課	通年
地域共生	地域に対する貢献活動(周辺清掃等)の実施	実施	全課	通年
見える化、平易化	設備や手順の表示・工程の見直し、 文書の整理等	実施	全課	通年

*1:山梨営業所及び事務課は除く *2:事務課は除く

計画は3か月ごとに達成状況や進捗状況の確認・見直しを実施する。

10.代表者による全体の評価と見直し・指示

<全体の評価>

当社のエコアクション21の活動は、来たる2025年12月で20年間となります。徒手空拳でスタートした頃から現在に至るまで、さまざまな工夫と努力をして、今日に辿り着きました。この間、世界では環境をめぐる大変多くの事柄がありました。COPの決議をめぐる報道、プラス1.5度、Scope1・2・3、SGDsなど、環境をめぐる活動が、地球規模での気象変化とともに、日々私たち一人一人に「一体何ができるのだ？」と迫っていると感じます。

当社のEa21の活動の主軸は職場会議であり、その大方針は「継続と啓発」です。一人一人が興味を持って、それが温かい熱意に代わり、行動になること。日々の生活に、地に足がついた活動であること。一人一人がまず自分のために、そして、仲間の、家族の、地域のためにできることをする。そしてつないでいくこと。ありがたいことに、この3年間で社員の約3割が新人となりました。この活動に関しても、会社の良い文化を認識して、続けて、周りの人を巻き込んでもらいたいと思います。

本レポートでは、活動が計画通り進んだこと、PDCAが強く意識され、活発であることが、社内向けの文書として非常に読みやすくまとめられています。総じて好ましい状況にあると認識しました。私たちは、この成果を踏みしめて、未来につながなければなりません。今後も活動を「継続、啓発」していくように、自己研鑽を怠らず進みましょう。

<見直しと指示>

環境経営方針 ☒変更なし ☐変更あり 指示事項:特になし

環境経営目標 ☒変更なし ☐変更あり 指示事項:特になし

環境経営計画 ☒変更なし ☐変更あり 指示事項:特になし

実施体制 ☒変更なし ☐変更あり 指示事項:特になし

2025年12月1日

天星製油株式会社

代表取締役 鈴木宏政